



AGS株式会社

東証2部 証券コード3648

2012年3月期 決算説明会資料

2012年5月

- I. 会社概要
- II. 2012/3期実績
- III. 2013/3期見通し
- IV. 今期の事業戦略

I . 会社概要

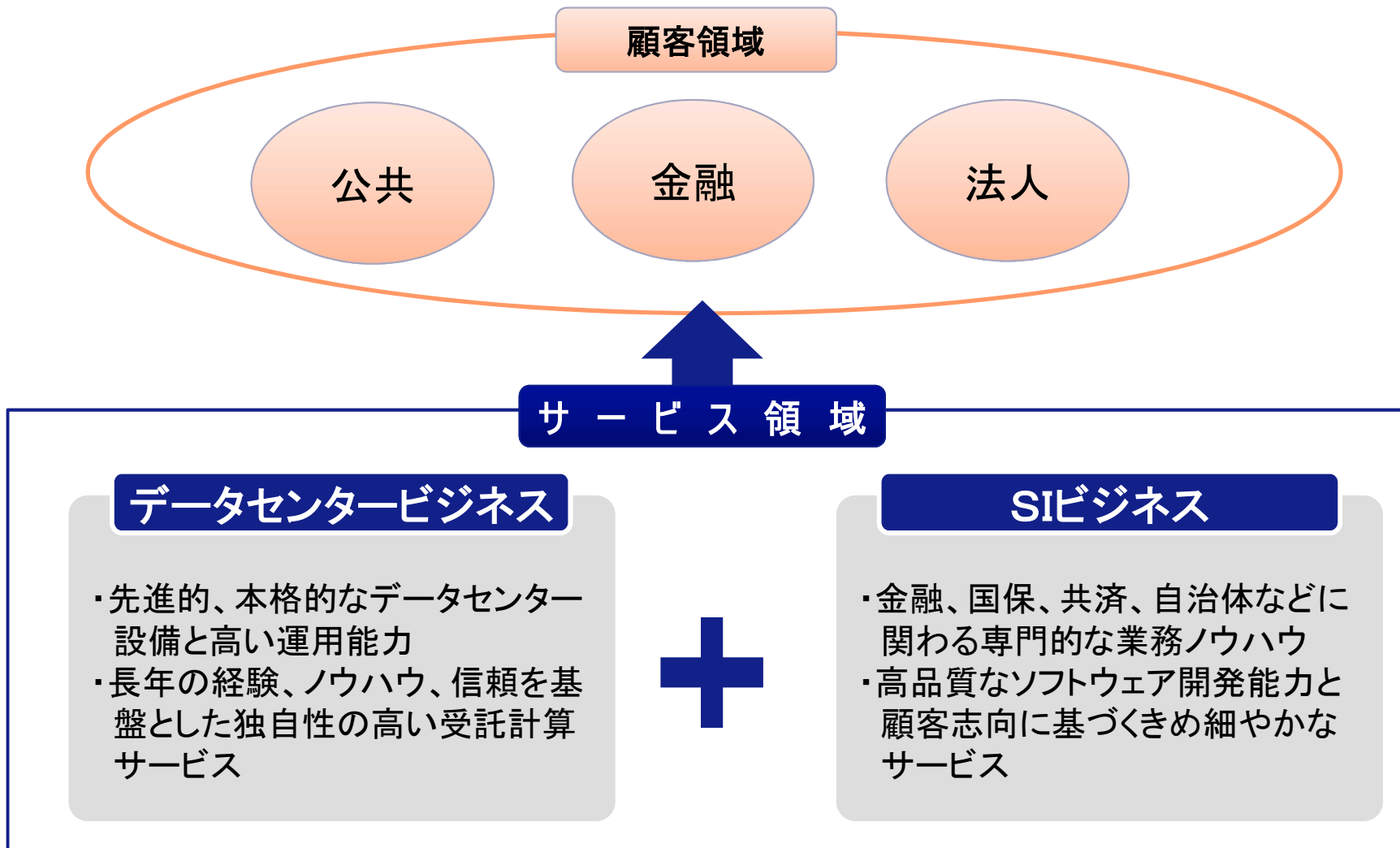
1. AGSグループ概要

商 号	AGS株式会社	
設 立	1971年7月	
資 本 金	1,398百万円	
従 業 員 数	連結 935名 (2012年3月末時点)	
本 社	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11	
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 ➤ ソフトウェア開発、情報機器の導入・保守他 AGSプロサービス株式会社 ➤ コンピューターシステムの運営他 AGSシステムアドバイザーズ株式会社 ➤ システムコンサルティング	

(本社:さくら浦和ビル)

2. 事業概要

金融・公共・法人を対象に、SIビジネスとデータセンタービジネスをワンストップで提供



3. サービス領域①

データセンターを基盤に受託計算からクラウドまで

データセンタービジネス（情報処理サービス）

■ 受託計算

- ・データ入力 ・計算処理 ・大量印刷
- ・封入封緘 ・OCR読み取り
- ・カード発行等



OCR読取



大型汎用機

■ アウトソーシング

- ・コンピューターのオペレーション請負
- ・オペレータ派遣、BPOサービス



大量印刷



カード発行

■ IDCサービス

- ・ハウジング、コロケーション、ホスティング



（浦和センター及びさいたまセンター）

■ クラウド

- ・与信管理システム「Neuro Watcher」
- ・Web会議サービス
「AGS」Cloud Web Meeting
- ・給与クラウドサービス「EasyPAYPACS」
- ・オンラインストレージサービス
「AGS」Cloud Web Basket
- ・リモートバックアップサービス

※赤字は、2012/3期に新規に開始したサービス

3. サービス領域②

顧客の様々なITソリューションに応えるSIビジネス

SIビジネス

■ ソフトウェア開発

- ・コンサルティング
- ・システム設計、構築
- ・システム保守サポート

■ その他情報サービス

- ・パッケージ商品販売
- ・導入支援サービス
- ・コンピューター機器保守
- ・情報セキュリティコンサルティング
- ・内部統制支援サービス等

■ システム機器販売

- ・コンピューター機器、周辺機器の
販売

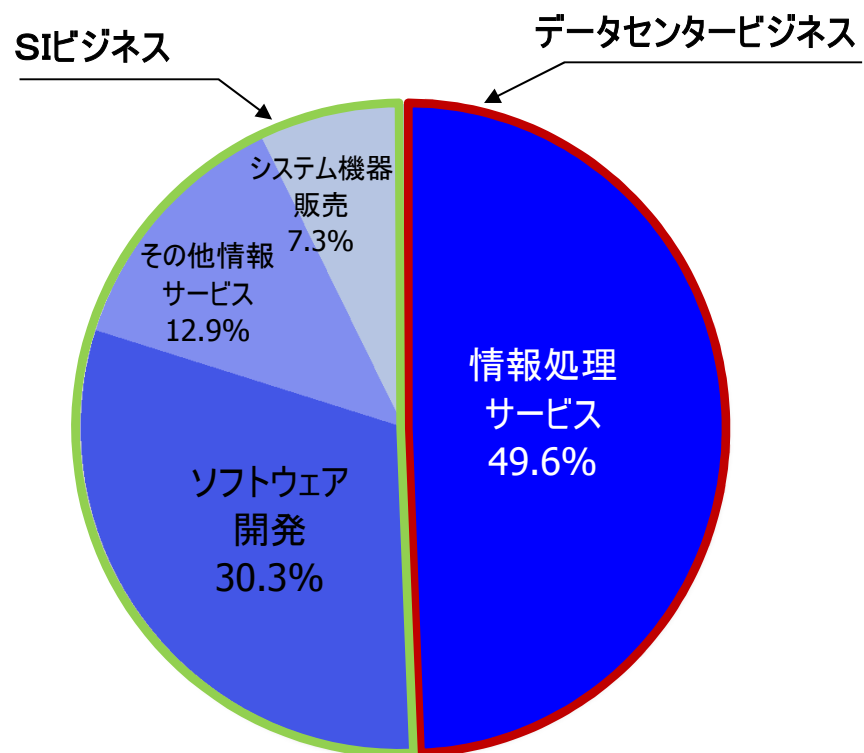
システムコンサルティングからソフトウェア開発、保守、システム機器販売までの
一貫したシステムインテグレーションサービス

4. 売上高の構成比

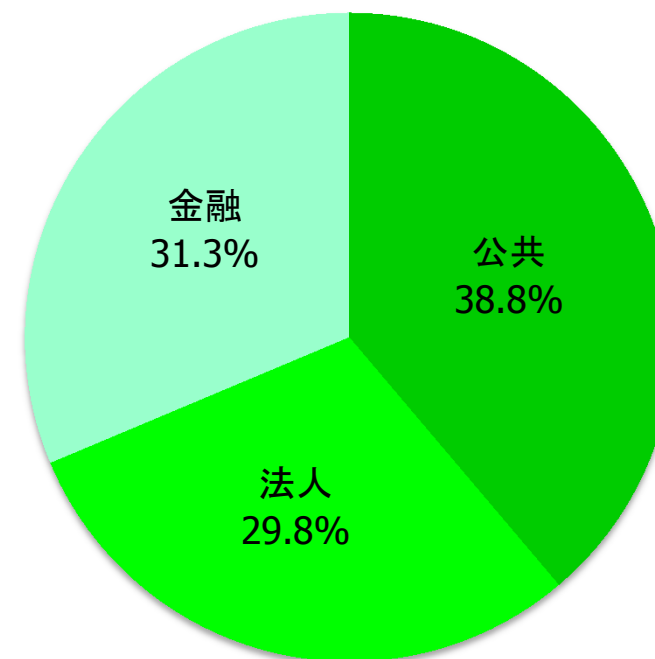
情報処理サービスを中心に
総合的なソリューション・サービスを展開

市場環境に柔軟に対応できる
顧客ポートフォリオを構成

【2012年3月期 連結 品目別構成比】



【2012年3月期 連結 顧客領域別構成比】



Ⅱ . 2012/3期実績

1. 2012/3期実績 サマリー

(単位: 百万円)

	2011/3期	2012/3期			2012/3期 予想 (1/30発表)
	金 額	金 額	増 減	増 減 率	金 額
売上高	16,789	16,294	▲495	▲3.0%	16,200
売上総利益	4,237	3,953	▲283	▲6.7%	—
営業利益	1,313	875	▲438	▲33.3%	850
営業利益率	7.8%	5.4%	▲2.5P	—	5.2%
経常利益	1,294	898	▲395	▲30.6%	870
当期純利益	695	405	▲289	▲41.7%	420
一株当たり当期純利益(円)	171.54	82.65	▲89	▲51.8%	85.59
一株当たり配当金(円)	39.00	36.00	▲3.00	—	36.0
ROE(当期純利益)	8.2%	4.4%	▲3.8P	—	—
ROA(経常利益)	9.7%	6.3%	▲3.4	—	—

※2011/3期の配当には記念配当5円を含んでおります。

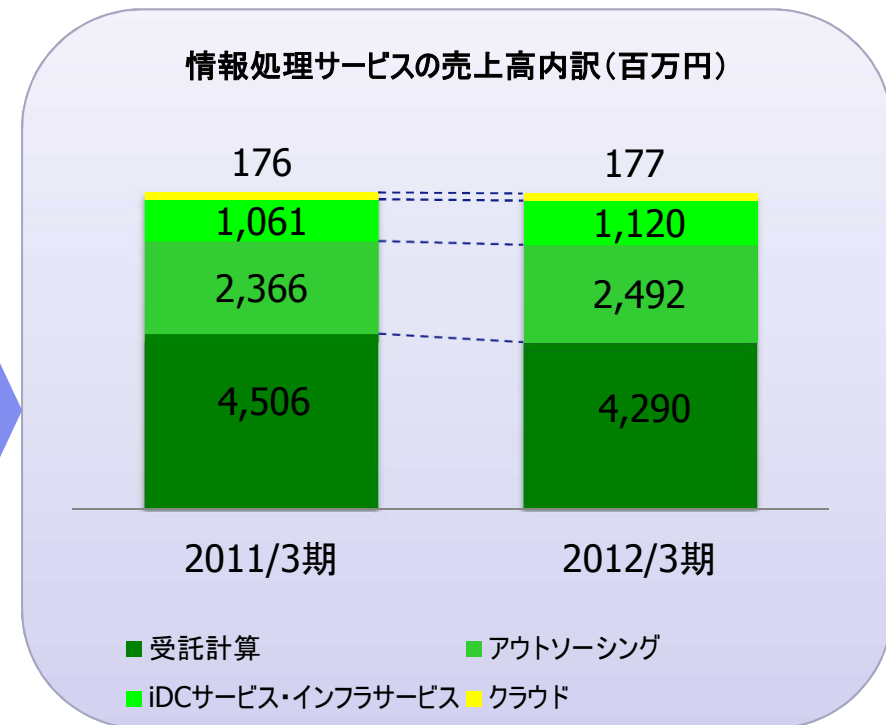
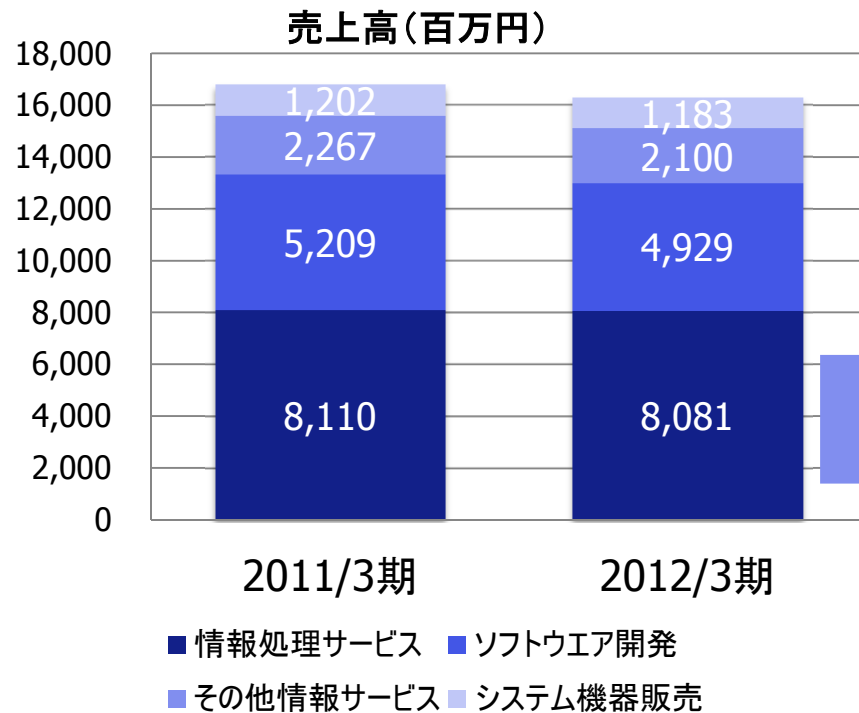
- 売上高は、情報処理サービス並びにシステム機器販売は前年並みであったが、ソフトウェア開発、その他情報サービスの減少より前年を下回る。
- 利益は、売上高の減少のほか、新センター開設に伴う費用や夏季電力抑制対応費用、販売管理費の増加、またソフトウェア開発における不採算プロジェクトの発生などもあり前年を下回る。

2. 事業セグメント別収益状況

(単位: 百万円)

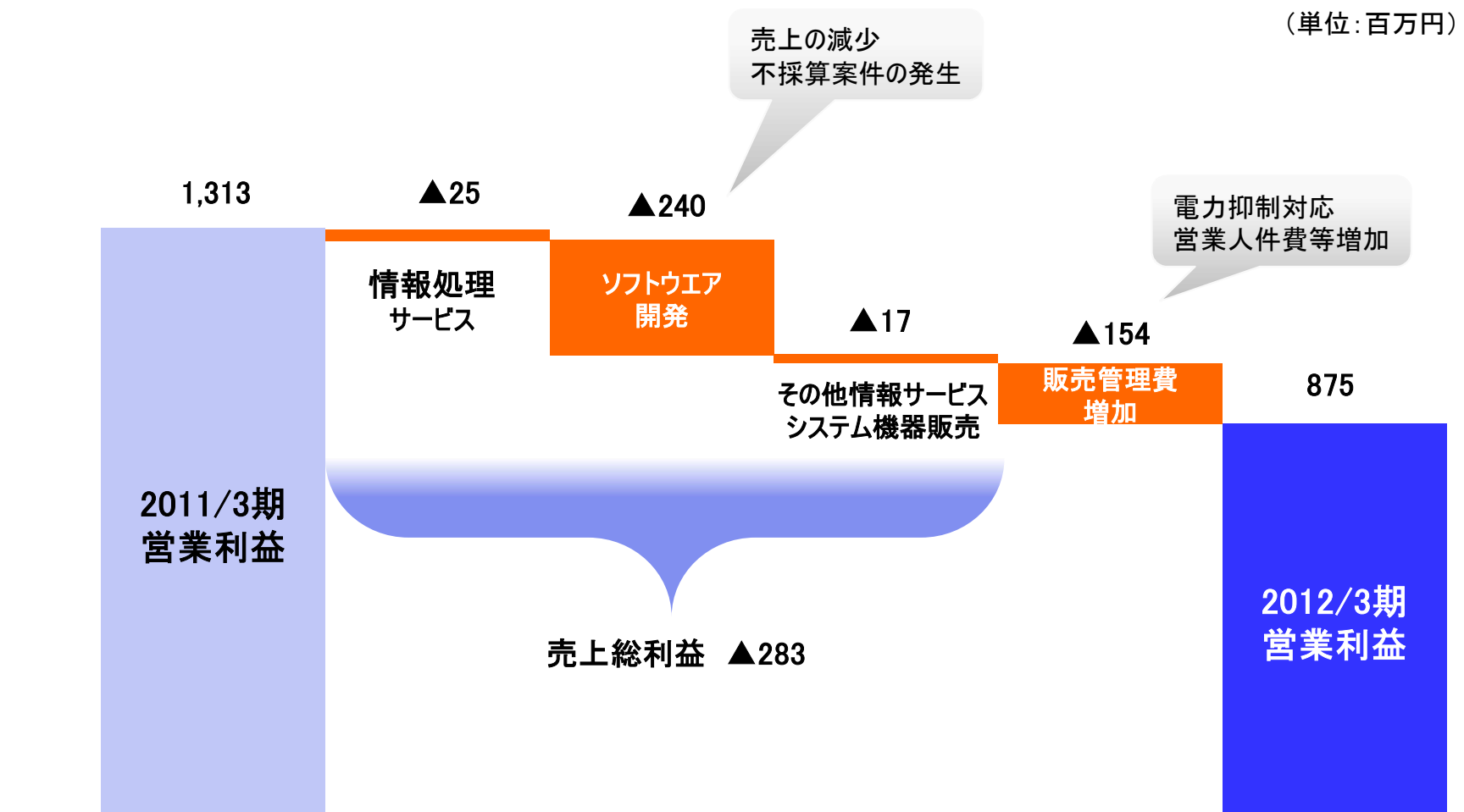
		2011/3期	2012/3期		
		金額	金額	増減	増減率
情 報 処 理 サ ー ビ ス	売上高	8,110	8,081	▲28	▲0.4%
	セグメント利益	1,479	1,352	▲126	▲8.6%
ソ フ ト ウ ェ ア 開 発	売上高	5,209	4,929	▲279	▲5.4%
	セグメント利益	855	606	▲248	▲29.1%
そ の 他 情 報 サ ー ビ ス	売上高	2,267	2,100	▲167	▲7.4%
	セグメント利益	232	221	▲11	▲4.8%
シ ス テ ム 機 器 販 売	売上高	1,202	1,183	▲19	▲1.6%
	セグメント利益	106	82	▲23	▲21.9%

3. セグメント別売上高状況



- 情報処理サービスは、受託計算の減少の一方、アウトソーシング及びiDCの増加によりカバー
- ソフトウェア開発は、自治体及び一般法人向けソフトウェア開発案件が減少
- その他情報サービスは、金融機関向け機器設置等のスポット案件や自治体向けのパッケージソフトの販売が減少
- システム機器販売は、公共向け販売が減少の一方、一般法人顧客向け販売がカバー

4. 営業利益増減分析



5. 貸借対照表

(単位: 百万円)

		2011/3期末	2012/3期末		主要増減要因
		金 額	金 額	増 減	
	流動資産	7,655	5,426	▲2,229	有価証券の売却
	固定資産	5,976	9,316	3,340	新社屋取得
資産合計		13,632	14,742	1,110	

	流動負債	2,802	2,944	141	買掛金の増加
	固定負債	1,268	1,999	730	リース債務の増加
負債合計		4,071	4,943	872	
	株主資本	9,050	9,254	204	利益剰余金による増加
	純資産合計	9,561	9,799	238	
負債純資産合計		13,632	14,742	1,110	

自己資本比率	66.8%	63.3%	▲3.5P	
1株当たり純資産(円)	1,856.91	1,903.00	46.09	

6. キャッシュフロー表

(単位: 百万円)

	2011/3期	2012/3期	
	金 額	金 額	増 減
営業活動によるキャッシュフロー	1,834	1,418	▲416
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,565	▲578	986
財務活動によるキャッシュフロー	143	▲649	▲792
現金および現金同等物の増減額	411	190	▲221
現金および現金同等物の期末残高	1,796	1,986	190

Ⅲ. 2013/3期見通し

1. 2013/3期見通し サマリー

(単位:百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 予想		
	金 額	金 額	増 減	増 減 率
売上高	16,294	16,700	405	2.5%
営業利益	875	880	4	0.5%
営業利益率	5.4%	5.3%	▲0.1P	—
経常利益	898	900	2	0.1%
当期純利益	405	520	114	28.2%
一株当たり当期純利益(円)	82.65	105.97	23	—
一株当たり配当金(円)	36.00	36.00	0.00	—

2. 事業セグメント別売上高見通し

(単位: 百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 予想		
	金額	金額	増 減	増 減 率
情 報 処 理 サ ー ビ ス	8,081	8,290	209	2.6%
ソ フ ト ウ ェ ア 開 発	4,929	4,590	▲339	▲6.9%
そ の 他 情 報 サ ー ビ ス	2,100	1,980	▲120	▲5.7%
シ ス テ ム 機 器 販 売	1,183	1,900	717	60.6%

IV. 今期の事業戦略

1. 市場環境認識(顧客動向)

<公共>

- 各自治体税収減のため、コスト削減や契約の透明性確保と共通化や制度改正に積極的に取り組んでいる。
- 制度改正による特需が見込まれる一方、ITベンダーの競争が激化する。



<法人>

- データセンターアウトソーシングは市場の拡大が見込まれ、クラウドサービスは大幅な需要拡大が見込まれる。
- 中堅企業には不景気感が根強いものの、製造業を中心に次期システム化構想を具体的な活動に移している企業などもあり、IT投資の回復が期待できる。



<金融>

- 金融市場は、再編・統合案件が今後も継続し、成長率は鈍化するが、引き続き堅調なIT投資が期待できる。



2. 新データセンターの開設

新データセンター建設による供給力と機能の大幅強化

<外観>



<新データセンターの特徴>

アクセス性



安全性



環境性

東京都心部から
25km

ハイセキュリティシステム
完全二重化電源システム
災害に強い立地条件
最新の免震技術

省エネルギー/
高効率機器の採用
自然エネルギー活用

国内最高レベルの基本性能



<新データセンターの概要>

所在地：さいたま市浦和区
建物：地上5階建てRC構造
収容ラック数：最大600ラック
(延床面積8,000㎡)

競争力の高い周辺サービス

受託計算
サービス



アウト
ソーシング



ASP
クラウド

計算処理・データ入力
大量印刷・封入封緘
OCR読取・カード印刷
など

コンピューター
オペレーション
BPOサービス
など

マルチペイメント
与信管理、AGSクラウド
など

3. 2013／3期基本方針

経営方針

持続的に成長可能な経営基盤の構築



基本方針

1. 新センター開設に伴うiDCや運用サービスの強化・拡販
2. クラウドをはじめとするサービスメニューの拡充
3. SIビジネスにおけるITソリューション力の強化
4. 上記の各サービスを支える人材の育成
5. プロジェクト管理体制の強化徹底及び開発プロジェクトの品質向上
6. 業務効率化、コストの削減の継続実施

4. 顧客領域別の取り組み

公共

1. 総合行政システム(PubLinker) (P26参照)や統合収納ソリューション(P27参照)の拡販と統合運用サービス(P28参照)の展開
2. 既存販売先に対する周辺システムや新サービスの提供
3. 共通番号制などの法制度改正への積極取り組み

法人

1. データセンタービジネス拡販と大口先の開拓
2. 顧客取引深耕とITソリューション力強化のための技術者育成
3. 自社サービスの拡充と販売推進

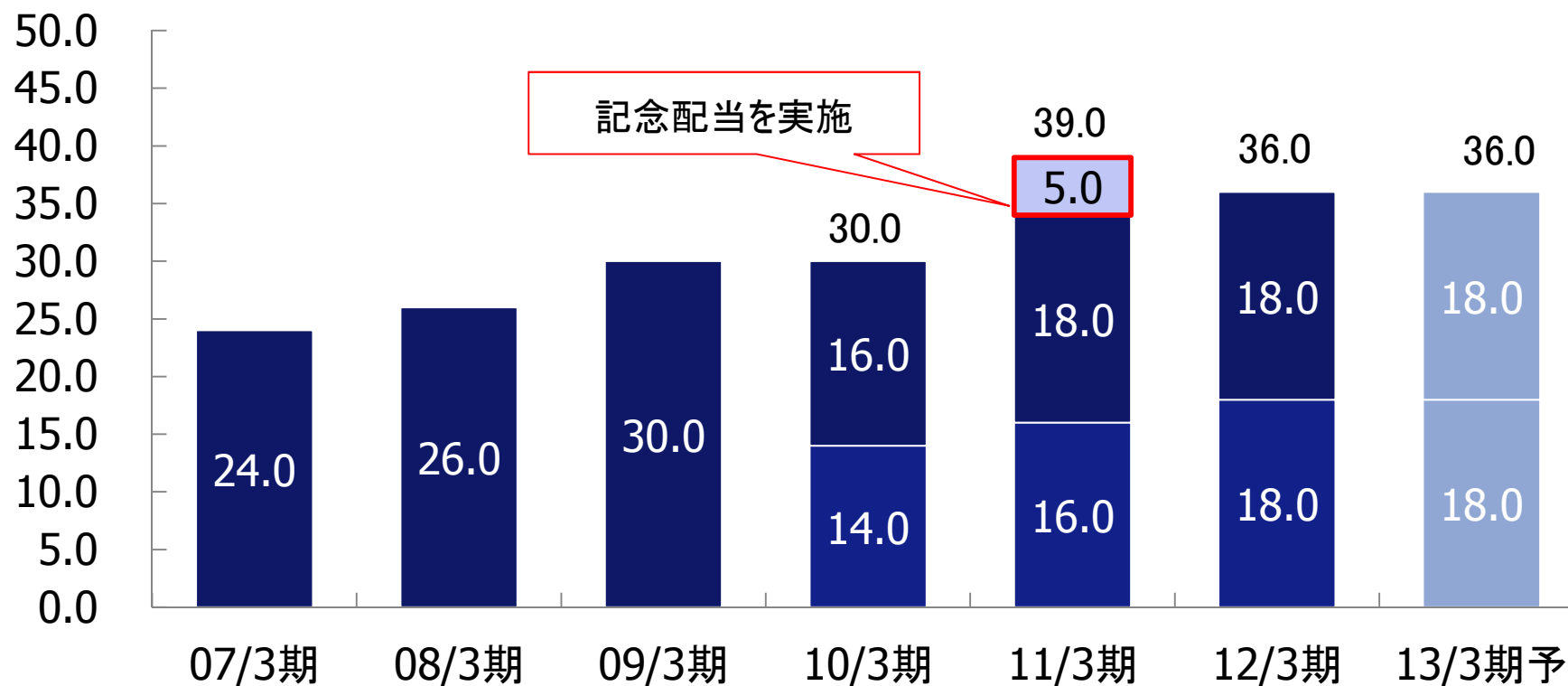
金融

1. 既存顧客との関係維持・強化による取引拡大
2. 既存顧客以外の金融関連市場開拓への基盤確立
3. 新規ビジネス獲得のための組織的要員育成

5. 配当政策

株主の皆様の期待に応える利益還元を実現

- 事業展開強化による企業価値の向上
- 安定した収益に基づいた継続的な配当



※2009年7月付けで1株→5株に株式分割。2009年3月期以前については遡及修正。

業容拡大及び経営効率化を目的とした組織変更（平成24年6月27日付）

1. クラウドビジネス推進室の新設

IDC及びクラウド関連ビジネスの強化拡大のため、当該サービスの企画・統括、営業推進等の機能を集約したクラウドビジネス推進室を新設する

2. 事業推進本部の組成

事業推進本部を組成し営業統括部、システム統括部、クラウドビジネス推進室を配下に置き事業本部への支援を強化する

3. 企画管理本部の組成

企画管理本部を組成し企画部、財務部、経理部、人事部、総務部を配下に置き、一層の経営効率化を図る

4. 自治体事業本部の改称

自治体事業本部を公共事業本部へ改称し、自治体営業部を公共営業第一部と公共営業第二部へ分割し、さらなる営業基盤の拡大を図る

5. 公共IT事業本部の改称

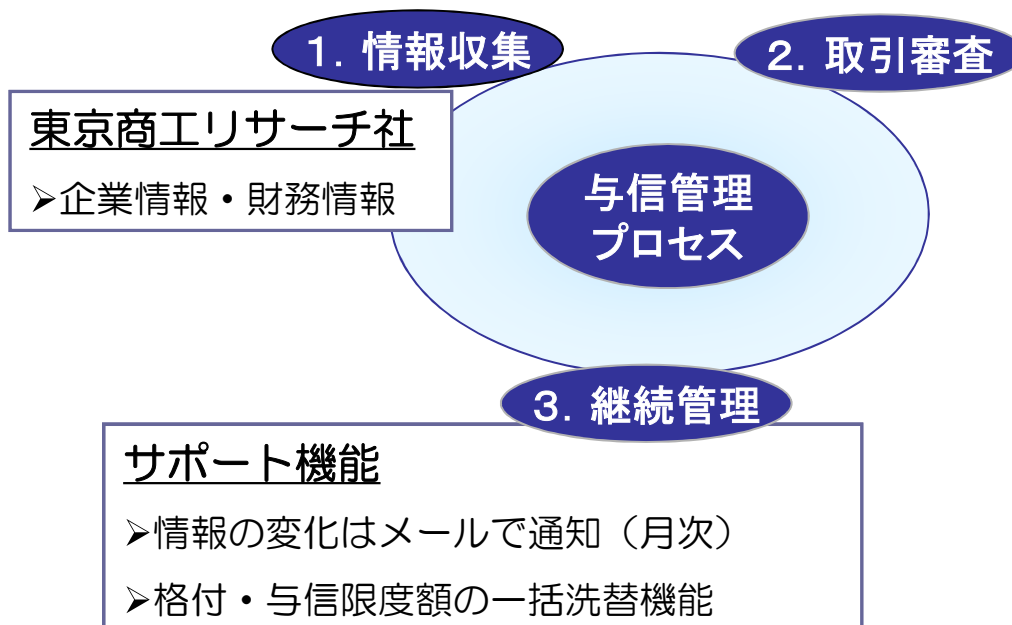
国保関連事業の拡大に向けて公共IT事業本部を保険医療事業本部へ改称する

【参考資料】Neuro Watcherとは

「Neuro Watcher」は客観的かつ合理的な与信管理を実現します

東京商工リサーチ社(TSR)の企業情報・財務情報に基づいて信用スコアリングを行い、取引先企業の与信判断をする際に必要な情報(信用格付・与信限度額等)をインターネット上でご提供いたします。

与信管理に必要な三大要素を網羅しています



スコアリング信用格付

- 金融機関の融資審査ノウハウ
- 予測年間倒産率に基づく9段階の信用格付

与信限度額

- 格付＋与信政策で最適な与信限度額を算出

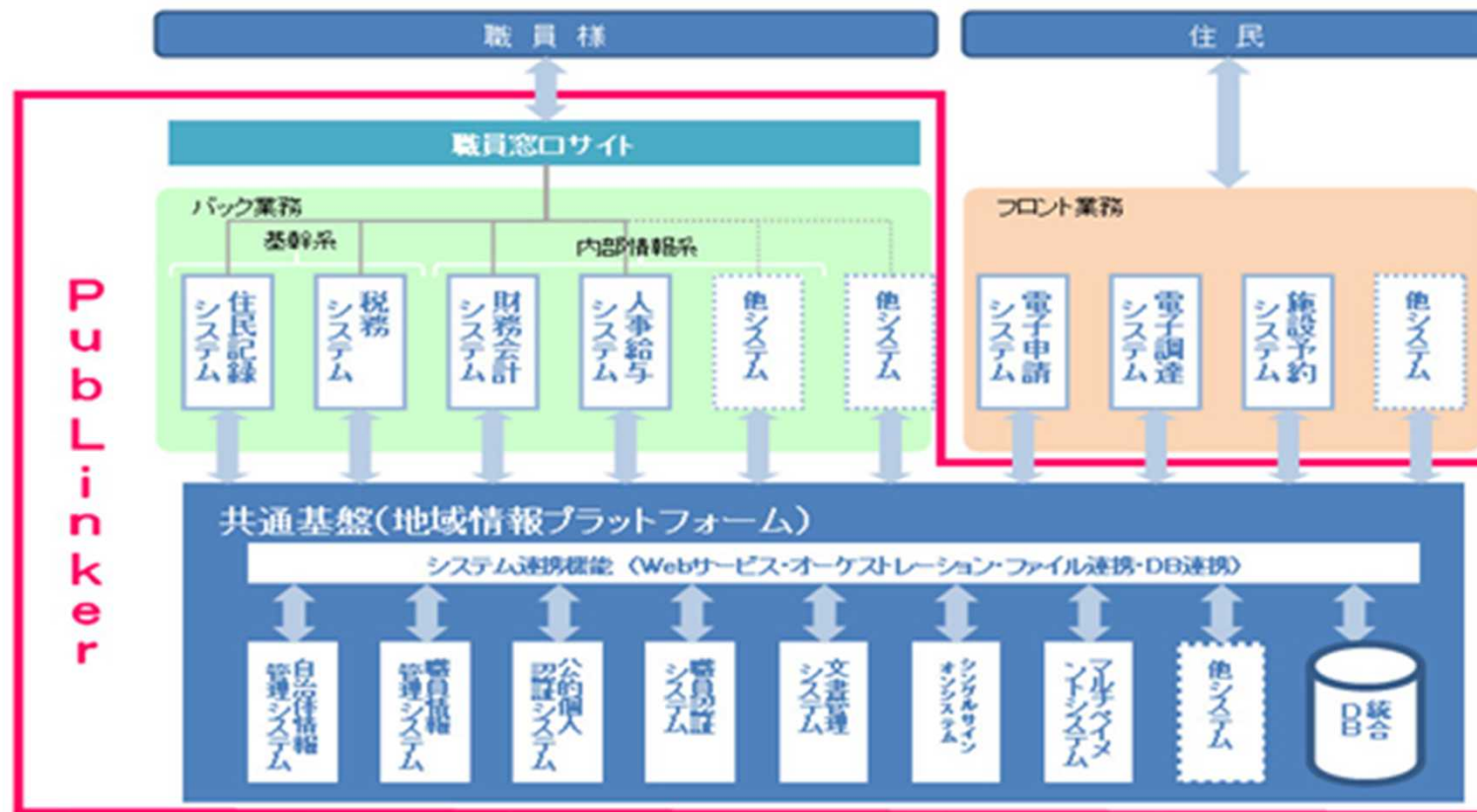


信用リスク評価額

- 与信限度額×予測年間倒産率で潜在リスクを定量化

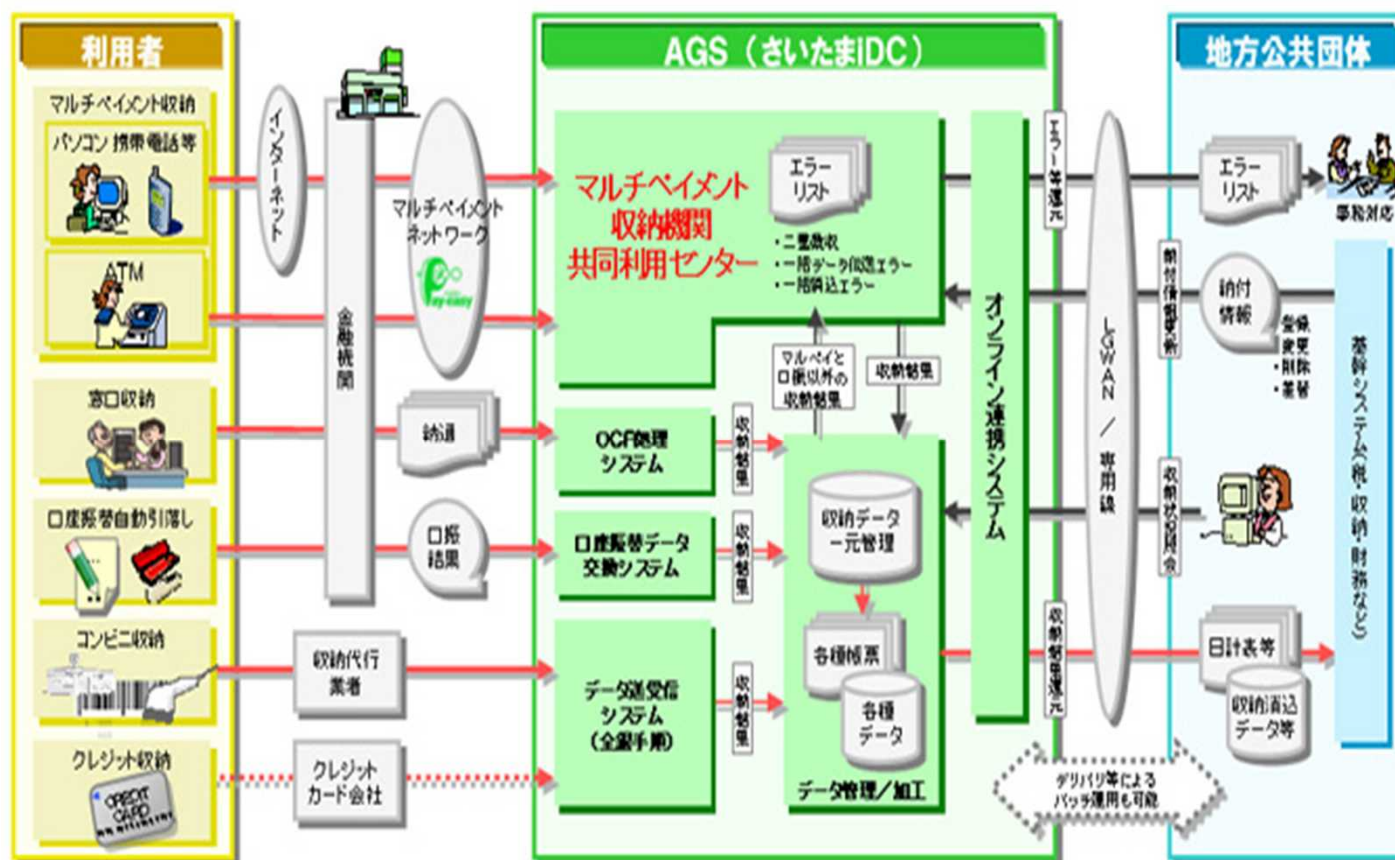
【参考資料】総合行政システム(PubLinker)とは

PubLinkerは、庁内の各システムの共通した機能・情報を一元化し、業務システムが利用できる共通基盤(＝地域情報プラットフォーム)として整備することにより、トータルコストの削減、総合窓口(＝ワンストップサービス)等による住民サービスの向上を実現いたします。



【参考資料】統合収納ソリューションとは

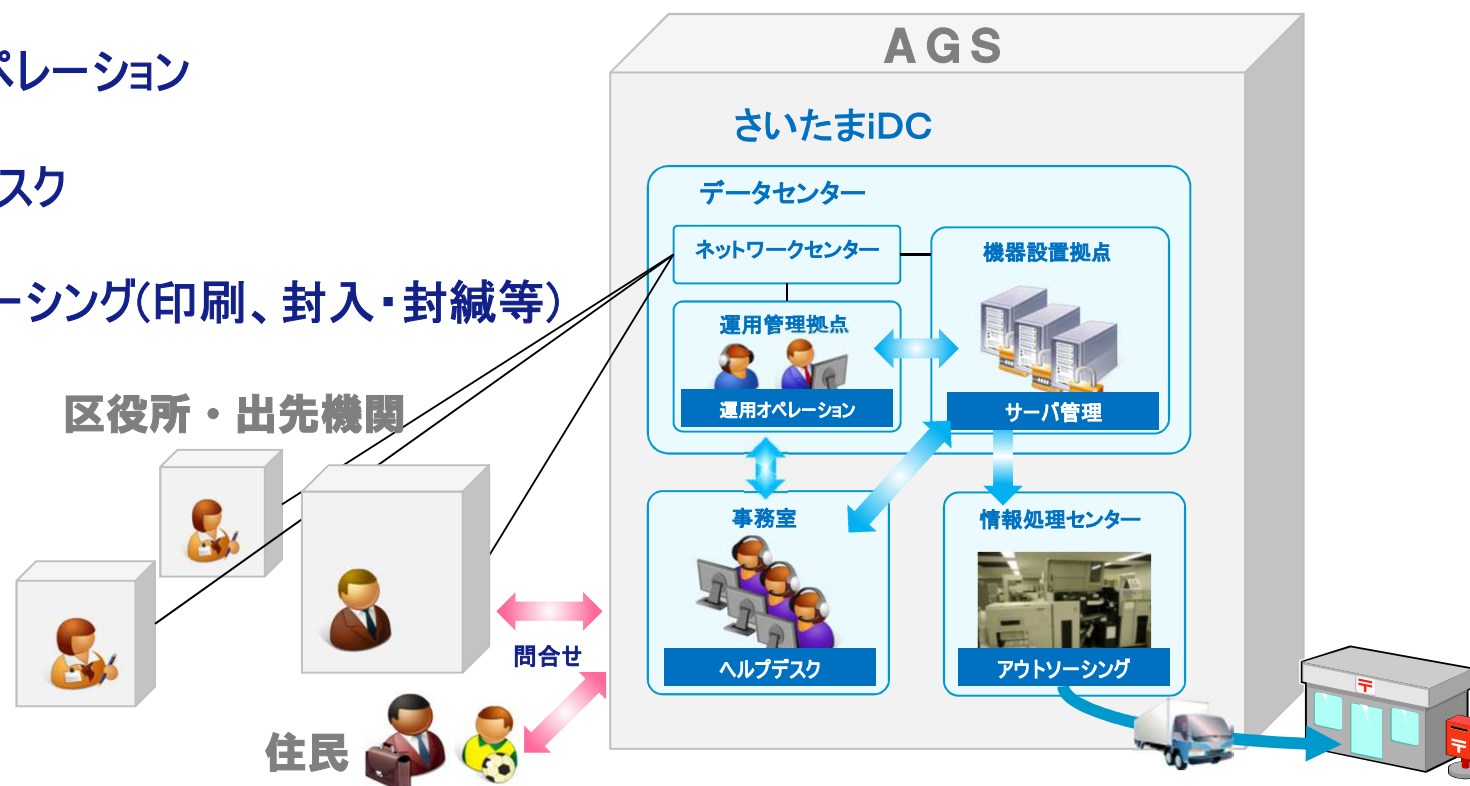
収納機関共同利用センターをはじめ、すべての収納チャネルに対応したインフラを当社データセンター内に整え、収納データを一元管理することにより、付加価値の高い各種サービスを実現します。



【参考資料】総合運用サービスとは

サーバーをお預かりし運用を稼働監視するといった一般的なデータセンターサービスに留まらず、専門要員によるシステムの運用、システム等のお問い合わせ窓口を一本化するヘルプデスク、大量印刷、封入・封緘などのアウトソーシングといった、情報システムの運用をワンストップで実現します。

- 1 データセンターによるサーバ管理
- 2 運用オペレーション
- 3 ヘルプデスク
- 4 アウトソーシング(印刷、封入・封緘等)



Assuring Growth and Success with IT

『ITで、確かな成長と成功を』



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、AGS株式会社の事業及び業界動向に加えて、AGS株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたものもしくはまだ知られていないリスク、不確かさ、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。AGS株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2012年5月30日現在において利用可能な情報に基づいてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。